

第六十五條 所屬聯合會又ハ所屬組合脫退シタル場合ニ於テ拂戻スヘキ持分額ハノ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込濟出資額ノ半額ニ止ムルモノトス

第七章 解散

第六十六條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ所屬聯合會又ハ所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附則

第六十七條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會 聯合農業倉庫業務規程

第一章 總則

第一條 本會ノ聯合農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一 受寄物ノ保管
- 二 受寄物ノ調製改装及荷造
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
- 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
- 五 貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ本會ニ所屬セサル組合又ハ聯合會ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條 本會ハ左ノ物品ノ寄託ヲ受クルモノトス

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物

二 聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物

前項ノ穀物ノ品目左ノ如シ

米(玄米、精米、粳)麥(大麥、小麥、裸麥、燕麥)

第三條 本會ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品
- 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品
- 三 聯合農業倉庫業者カ保管スル前二號ノ物品

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會聯合農業倉庫業務規程

前項ノ物品ノ種類左ノ如シ

七六一

支米、精米、粳、大麥、小麥、裸麥、燕麥、菜種、大豆、小豆、菜豆

第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

一 所屬聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第十九條第一項又ハ第二項ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノ及所屬農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノ

二 本會ニ所屬セサル聯合農業倉庫業者及農業倉庫業者カ前號ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノ

三 所屬販賣組合聯合會又ハ所屬販賣組合カ賣却スル物品

四 本會ニ所屬セサル販賣組合聯合會又ハ販賣組合カ賣却スル物品

五 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル
支米、精米、粳、大麥、小麥、裸麥、燕麥、菜種、大豆、小豆、菜豆

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第

三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキハ其ノ農業倉庫ノ寄託者又ハ

證券所持人ハ本會ノ寄託者トス

聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキ亦同シ

第七條 本會ノ聯合農業倉庫業ニ關スル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第二章 入出庫手續及保管

第八條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ニ準スル申込書ヲ差出スヘシ

道府縣、同業組合、農業倉庫又ハ聯合農業倉庫ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ寄託申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ

第九條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ第二號様式ノ入庫票ヲ寄託申込者ニ交付ス

第十條 受寄物保管ノ場所及保管方法ハ本會之ヲ定ム

種類及品位ノ同一ナル物品ハ左ノ倉庫ニ於テ混合保管ヲ爲スコトアルヘシ

一 東京倉庫第一號乃至第四號倉庫

二 大阪倉庫第一號乃至第三號倉庫

三 門司倉庫第一號乃至第三號倉庫

寄託ノ申込ニ際シ持ニ保管ノ場所又ハ保管ノ方法ヲ指定シ本會之ヲ承諾シタルトキハ前二項ニ依ラサルコトヲ得

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會聯合農業倉庫業務規程 七六三

第十一條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規程ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位等級ヲ査定ス

前項ノ検査ハ道府縣、同業組合、農業倉庫又ハ聯合農業倉庫ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十二條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應ジ燻蒸ヲ行フコトアルヘシ

第十三條 受寄物中變質、腐敗其ノ他ノ原因ニ依リ保管ニ適セス又ハ他ノ受寄物若ハ倉庫ニ損傷ヲ及ホス虞アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ請求シ又ハ保管期限前ト雖モ其ノ受寄物ノ出庫ヲ請求スルコトアルヘシ

前項ノ處置又ハ寄託物ノ引取ヲ怠リタル爲ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第一項ノ場合ニ於テ緊急ノ必要アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ノ有無ニ拘ラス其ノ者ノ費用ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ得ルモノトス因テ生シタル損害ハ本會其ノ責ニ任セス

第十四條 保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六ヶ月以内トス

第二條ノ規定ニ依ル寄託物ニシテ組合又ハ聯合會ニ於テ保管中其ノ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求メニ應スルモノトス

前項ノ更新期間ハ六ヶ月ヲ超エサルモノトス

第十五條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十九條ノ規定ニ依リ發行シタル倉荷證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十六條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應ジ之ヲ引渡スモノトス

第十七條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シ等ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十八條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第十三條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ引取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ附スルコトアルヘシ

第三章 證券

第十九條 本會ハ寄託者ノ請求アルトキハ第三號様式ノ倉荷證券ヲ交付ス

第二十條 前條ノ倉荷證券ハ受寄物ニ付組合又ハ聯合會ニ於テ發行シタル倉荷證券ニシテ裏書禁止シタルモノ若ハ倉荷證券發行ナキ旨ノ證明書及本會ニ於テ交付シタル入庫票ト

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會聯合農業倉庫業務規程 七六五

引換ニ之ヲ交付スルモノトス但シ第三條第一項第二號ノ物品ノ倉荷證券ハ入庫票ト引換ニ之ヲ交付スルモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ本會ニ於テ受取リタル組合又ハ聯合會發行ノ倉荷證券ハ本會ニ於テ消印シタル上之ヲ本會ニ保存スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ本會ニ保存スル倉荷證券ハ受寄物ヲ出庫シタルトキ之ヲ寄託申込者ニ返戻スルモノトス

第二十二條 第十九條ノ倉荷證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ保證人ヲ立テ又ハ擔保ヲ供シテ受寄物ノ出庫若ハ倉荷證券ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 倉荷證券ノ分割、書換又ハ再交付ノ請求アリタルトキハ本會ハ所定ノ手数料ヲ申受クヘシ

第四章 損害及保險

第二十四條 本會ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、竊盜、紛失、翻切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ天災、事變其ノ他避クヘカラサル事由ニ基ク損害及保險者カ填補ノ責任ヲ有スル損害又ハ寄託者ノ申出ニ依リ保險ニ附セサル損害ニ付テハ此ノ限りニ在ラス

第二十五條 本會ノ賠償ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ受寄物ニ付生シタル損害額ハ時價ニ據

リ算出ス

第二十六條 受寄物ニ付本會ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖モ重大ナル損害アリタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公告ス

第二十七條 混合保管ヲナス受寄物ニ付損害アリタルトキハ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ數量ニ應シ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十八條 本會ハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖モ其ノ者ノ爲ニ受寄物ヲ火災保險ニ附スルモノトス

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

寄託者又ハ證券所持人ハ本會ノ承諾ヲ得テ前二項ノ規定ト異ナル特約ヲ爲スコトヲ得保險料ハ實費ヲ標準トシテ理事之ヲ定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第二十九條 受寄物ノ火災保險ニ付テハ總テ本會ト保險者トノ契約ニ依ルモノトス
火災保險金ハ本會ヲ經テ授受スヘキモノトス

第三十條 本會必要ト認ムル場合ハ受寄物ヲ運送保險ニ附スルコトアルヘシ
前項ノ場合ハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 第四十二條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ受寄物ヲ倉庫ニ引渡ス迄ニ生シタル損害ニ付テハ第二十四條乃至第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第五章 調製、俵裝、販賣、運送及貸付

第三十二條 受寄物ノ調製、改裝、荷造、運送ノ仲立若ハ取次又ハ販賣ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ倉荷證券ヲ呈示スルコトヲ要ス

第三十三條 受寄物ニ付調製、改裝又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ倉荷證券ニ其ノ料金額ヲ記入シ受寄物ノ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第三十四條 受寄物ニ付運送ノ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ必要アルトキハ一定數量ニ對スル迄之ヲ取纏ムルコトアルヘシ

第三十五條 運送ノ仲立及取次ノ手数料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徴收ス

第三十六條 受寄物ノ販賣ノ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ
販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條 本會ニ於テ爲ス貸付ハ倉荷證券面記載ノ受寄物ノ時價ノ八割以内日歩三錢以内トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

第六章 保管料其ノ他ノ料金

第三十八條 本倉庫ニ於ケル保管料ハ一ヶ月ヲ左ノ期間ニ分チ一期ニ付之ヲ定ム但シ一期ニ滿タサル日數ニ付テモ一期トシテ之ヲ計算ス

一 東京倉庫ニ於テハ一ヶ月ヲ左ノ三期トス

イ 一日ヨリ十日迄

ロ 十一日ヨリ二十日迄

ハ 二十一日ヨリ其ノ月末日迄

二 大阪及門司倉庫ニ於テハ一ヶ月ヲ左ノ二期トス

イ 一日ヨリ十五日迄

ロ 十六日ヨリ其ノ月末日迄

第三十九條 受寄物ノ保管料、販賣手数料、入出庫料及其ノ他ノ料金ハ左ノ範圍ニ於テ理事之ヲ定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス但シ入出庫ニ付テ特別ナル費用ヲ要シタル場合ニ於テハ其ノ實費ヲ徴收スルモノトス

一 米、麥、菜種、豆(一俵ニ付)

イ 混合保管料

一期ニ付

東京倉庫
大阪及門司倉庫

二錢以內
二錢以內

特定保管料

一期ニ付

東京倉庫
大阪及門司倉庫

三錢以內
四錢以內

ロ 販賣手数料

四錢以內

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會聯合農業倉庫業務規程

七六九

- ハ 入出庫料（貨車卸料、引込料、入庫料、出庫料）
（貨車卸料、貯積賃、貯卸賃、入庫料、出庫料）
一 八錢以内
二 三錢以内
 - 二 證券發行其ノ他ノ料金（一通ニ付）
 - イ 證券發行手數料
一〇錢以内
 - ロ 證券再發行手數料
二〇錢以内
 - ハ 證券書換手數料
一〇錢以内
 - ニ 證券分割手數料
一〇錢以内
 - ホ 入庫票再發行手數料
五錢以内
- 第四十條 受寄物ノ看賞、調製、改装、荷造、見本摘出等ニ關スル料金ハ實費ヲ標準トシテ理事別ニ之ヲ定ム
- 第四十一條 第四十二條ノ規定ニ依リ寄託スル場合ニ在リテハ保管料、保險料、手數料及運賃ハ聯合農業倉庫業者又ハ他ノ倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票又ハ倉荷證券ヲ交付スル際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第七章 聯合農業倉庫業者及他ノ倉庫業者ニ對スル寄託

第四十二條 寄託者又ハ證券所持人ノ請求ニ依リ又ハ本會ニ於テ必要ト認メタルトキハ寄託者若ハ證券所持人ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一 東 倉庫ニ於テハ

- イ 保證責任秋田縣販賣購買組合聯合農業倉庫
- ロ 有限責任新潟縣販賣購買利用組合聯合農業倉庫
- ハ 有限責任千葉縣販賣購買組合聯合農業倉庫
- ニ 東京倉庫運輸株式會社倉庫
- ホ 東神倉庫株式會社東京支店倉庫
- ヘ 三菱倉庫株式會社東京支店倉庫
- ト 澁澤倉庫株式會社倉庫
- チ 東京倉庫株式會社倉庫
- リ 帝國倉庫運輸株式會社倉庫
- ヌ 株式會社住友倉庫東京支店倉庫
- ル 乾倉庫土地株式會社倉庫
- リ 日本倉庫株式會社倉庫
- 二 大阪倉庫ニ於テハ
- イ 株式會社住友倉庫道頓堀支店倉庫
- ロ 東神倉庫株式會社大阪支店倉庫
- ハ 三菱倉庫株式會社大阪支店倉庫

三 門司倉庫ニ於テハ

イ 三菱倉庫株式會社門司支店倉庫

ロ 東神倉庫株式會社門司支店倉庫

ハ 澁澤倉庫株式會社門司支店倉庫

前項ノ場合ニ於テ受寄物ノ質權者アルトキハ其ノ承諾ヲ得ルモノトス

第四十三條 前條ノ寄託ヲ爲ス場合ニ於テハ寄託者又ハ證券所持人ハ第四號様式ノ請求書又ハ第五號様式ノ承諾書ニ本會ノ發行シタル入庫票又ハ倉荷證券ヲ添へ本會ニ差出スヘシ

前條第二項ノ場合ニ於テハ質權者ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第四十四條 前條ノ規定ニ依リ本會ノ受取リタル倉荷證券ニハ裏書禁止ヲ爲シ第四十二條ニ規定スル倉庫ニ寄託スル旨ヲ記入シ本會ニ於テ之ヲ保管ス

第四十五條 第四十二條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ倉荷證券ノ發行ナキトキハ寄託者ノ請求ニ依リ其ノ旨ノ證明書ヲ交付スヘシ

第四十六條 聯合農業倉庫業者又ハ他ノ倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票又ハ倉荷證券ハ本會カ販賣ノ委託ヲ受ケサル場合ニ限り之ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ交付ス

第八章 損益計算

第四十七條 本會ノ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ填補ハ本會ノ定款ノ規定ニ依ル

六 全國產業組合製絲組合聯合會會則

昭和七年二月十日認可

第一章 總則

第一條 本會ハ產業組合製絲組合相互ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 產業組合製絲組合相互ノ聯絡及統制ニ關スル施設
- 二 原料繭及其ノ受入方法ノ統一ニ關スル施設
- 三 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
- 四 產業組合製絲ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 五 產業組合製絲ニ關スル研究及調査
- 六 產業組合製絲ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

全國產業組合製絲組合聯合會會則

七 前各號ニ掲クルモノノ外會員ノ聯絡ヲ圖リ其ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル施設

第三條 本會ハ全國産業組合製絲組合聯合會ト稱ス

第四條 本會ノ地區ハ全國トス

第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク

第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七條 本會ハ事務所ニ會員名簿ヲ備ヘ置クモノトス

會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

一 會員ノ名稱及事務所

二 經費賦課ノ基礎ト爲ルヘキ事項

三 議員及豫備議員ノ配當數

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ

第八條 日本中央蠶絲會ニ於テ産業組合製絲ニ關スル統制施設ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ

受ケタルトキハ本會ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 本會ハ會員ニ對シ産業組合製絲ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ

得

第十一條 會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本會ニ其ノ旨届出ツヘシ

第七條第二項第一號又ハ第二號ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二章 役員、職員、日本中央蠶絲會議員及相談役

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 二名

評議員 七名

第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長、其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ

同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十六條 役員ニ闕員ヲ生シタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十七條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

全國産業組合製絲組合聯合會會則

第十八條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス其ノ代理ノ順序ハ會長ノ定ムル所ニ依ル

會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

一 庶務ニ關スル事項

二 三百圓未滿ノ金錢ノ收支ニ關スル事項

第十九條 評議員ハ會務ニ關スル重要ナル事項ニ付會長ノ諮問ニ應ジ竝ニ會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

一 總會ニ提出スヘキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二十條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二十一條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十二條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事 一名

主事補 若干名

技師 若干名

技手 若干名

書記 若干名

主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス

主事補ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ處理ス

技師又技手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

書記ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第二十三條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十四條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第二十六條 本會ニ相談役ヲ置クコトヲ得

相談役ハ總會ノ推薦ニヨリ會長之ヲ囑託シ其ノ任期ハ役員ノ任期ニ準ス

相談役ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議

全國産業組合製絲組合聯合會會則

決ニ加ハルコトヲ得ス

七七八

第三章 會議

第二十七條 本會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 議員及議員事故アル場合之ニ代ルヘキ豫備議員ハ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ之ヲ選任ス

議員ノ定數ハ本會設立ノ日ノ屬スル事業年度ヨリ起算シ每四事業年度ヲ一期トシ各期ニ付左ノ各號ニ依リ各會員ニ配當シタルモノノ合計トス但シ一會員ニ付六人ヲ超ユルモノニ在リテハ之ヲ六人トス

一 當該期ノ最初ノ事業年度ニ於ケル經費ノ分擔金年額三百圓以下ニ付一人トシ尙三百圓ヲ超ユル部分ニ付五百圓又ハ其ノ端數ヲ増ス毎ニ一人ヲ増加ス

二 當該期ノ最初ノ事業年度後ニ會員ト爲リタル會員ニ在リテハ會員ト爲リタル日ノ屬スル事業年度ニ於ケル其ノ經費ノ分擔金年額ニ其ノ事業年度ニ於ケル本會ノ經費ノ分賦總額ヲ以テ當該期ノ最初ノ事業年度ニ於ケル本會ノ經費ノ分賦總額ヲ除シテ得タル率ヲ乘シタル額ニ依リ前號ノ規定ニ準シ配當ス

前項ノ規定ハ豫備議員ノ定數ニ付之ヲ準用ス

豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ代ルヘキモノノ順位ハ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ都度本會ニ届出ツヘシ

第三十條 第十七條及第二十一條ノ規定ハ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第三十一條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲クル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 生絲ノ生産調節ニ關スル施設並ニ生絲ノ販賣數量及販賣價格ノ統制ニ關スル施設

四 生絲ノ規格統一

五 事業報告及收支決算

六 借入金

七 基本財産ノ造成、管理及處分

八 會則ノ變更

九 役員ノ選任及解任

十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任

全國産業組合製絲組合聯合會會則

七七九

十一 本則施行ニ關スル重要ナル諸規程ノ制定並ニ變更

第三十二條 總會ハ會長之ヲ招集ス

第三十三條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年十一月又ハ十二月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
- 二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 三 評議員カ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ招集スルコトヲ得

第三十四條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ三週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會員ニ通知スヘシ

第三十五條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三

項若ハ第四項ノ場合又ハ本會則第三十三條第二項第三號ノ請求ニヨリ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十七條 總會ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十八條 第三十一條第三號、第四號、第八號及第九號ニ掲クル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十九條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ決議ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ七日ヲ下ラサル回答期限ヲ定ムヘシ
第四十條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四十一條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲クル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

- 一 開會ノ日時及場所
- 二 總會ヲ組織スル者ノ數
- 三 出席者數
- 四 議事ノ要領

全國産業組合製絲組合聯合會會則

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第四十二條 本會ニ評議員會ヲ置ク

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

評議員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 會計

第四十三條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

一 平等割

二 釜數割

三 生絲產額割

第四十四條 本會ハ必要ニ應シ使用料若ハ手數料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨濟ヲ受クルコトアルヘシ

前項ノ使用料、手數料及實費ノ辨濟ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條 經費、使用料、手數料又ハ實費辨濟金ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

第四十六條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第四十七條 本會ハ基本財産ヲ設ク

支途ヲ特定セサル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十八條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産彙帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他必要ナル帳簿

第四十九條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ其ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スルヲ防ケス

第五十條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第五十一條 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 本會ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ

二 本會ノ事業ノ執行ヲ妨ケタルトキ

會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 第十條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲ササルトキ

全國産業組合製絲組合聯合會會則

二 第四十五條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セサルトキ
第五十二條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六章 解散

第五十三條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
第五十四條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス
第五十五條 清算人ハ就任後遲滯ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
第五十六條 清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シテ其ノ旨報告スヘシ

明治四十年十二月八日初 版 發 行
明治四十一年七月十六日再 版 發 行
昭和八年六月三十日第五十七版 增補發行 改訂發行

正價金五十錢

發行所 產業組合中央會

東京市牛込區揚場町二十一番地
電話牛込一六〇六番一六〇七番
振替貯金口座東京四七二四番

發行者 千石興太郎

東京市牛込區揚場町二十一番地

印刷者 松澤 虹三

東京市麴町區下六番町拾七番地

印刷所 株式同勞舍活版所

東京市麴町區下六番町拾七番地



著作
所有



中華民國二十六年六月一日

行政院

秘書長

呈請

呈請

呈請

Faint, illegible text and markings on the right page, including a date and several vertical lines of text.

Blank page with a vertical crease down the center, showing the texture of the paper.



